

平成30年度事務事業評価シート(29年度実績)

◎基本情報

事務事業名	障害者計画・障害福祉計画策定事業		担当部署	健康福祉部 社会福祉課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	障害者基本法、障害者総合支援法、児童福祉法	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業期間	開始	平成 ▼ 28年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと			終期
(小項目)		障がい者福祉			
施策	5	障がい者福祉の推進			
基本事業	2	福祉サービスの充実			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市民及び障害福祉関係機関等						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	障害者施策を総合的・体系的に定めた「障害者計画」及び障害福祉サービスの確保策や数値目標等を定めた「第5期障害福祉計画」を策定する。						
事業計画	29年度に何を計画していたか	障がい者団体・障害者支援事業所へのヒアリング等によるサービス見込み量等の算定、庁内関係課の意見聴取を踏まえ、策定・評価委員会(4回)を開催し、平成29年度末に策定する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位
		計画策定	アンケート実施	完了				%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	29年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	障がい福祉の現状や課題を把握するため、障害福祉サービス事業所へのヒアリング(8事業所)、障がい者団体へのグループインタビュー(4団体)、障害福祉サービス事業者へのアンケート(30事業所)、庁内関係課の意見聴取を実施。策定・評価委員会(4回)を開催し、ヒアリング等の内容や前年度に行ったアンケート結果も踏まえ、計画を策定した。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		28年度実績	29年度実績	30年度目標	31年度目標	32年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 計画策定に向けた市民アンケート実施	完了					
	2 策定・評価委員会の開催		4				回
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	計画策定		完了	-	-	-	%
	目標達成率(実績/目標)		100.0	-	-	-	%
今年度の進捗状況	完了	事業全体の進捗状況		-			

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成29年度	当初予算額	0	0	0	0	4,565	4,565
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	0	4,565	4,565
		決算額	0	0	0	0	4,486	4,486
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,234千円/人)	臨時職員(2,492千円/人)		総人件費		総事業費
		0.5	0.0		3,617		8,103	

【鳴門市行政評価】

【事務事業名：障害者計画・障害福祉計画策定事業】

事業費推移	年度	28年度決算	29年度決算	30年度	31年度	32年度
	事業費	1,901	4,486			
	うち一般財源	1,901	4,486			
	人件費	713	3,617			
	総事業費	2,614	8,103			

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値	所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった	市民・事業所へのアンケート・関係団体ヒアリング等を実施したことで、現状と課題を把握することができた。
	効率性	A:効率的だった	業務の一部を委託することで、事務の効率化を図ることができた。
②成果に対する評価	指標名	計画策定	
	目標	完了	策定・評価委員会において、市民・事業所アンケート、関係団体ヒアリング等の結果や、鳴門市地域自立支援協議会からの提言書も踏まえたうえで、目標通り計画を策定することができた。
	実績	完了	
	評価	A:目標を達成できた	
③総合的な評価	A		

◎今後の方向性(ACTION)

課題					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H30年度				
	H31年度				